

第 106 号  
2021 年 (令和 3 年)  
11 月

# たけはら

# 市民と議会

<http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/>

特集	2
決算審査	4
採決の結果	6
主な議案・議会の動き	7
一般質問	8
意見書	11

## 特集

持続していく  
未来の  
農業の姿を  
体現する



▲地域おこし協力隊と田万里「有機あぶらの里」プロジェクト協議会のみなさん

… 傍聴の際には「自宅での検温・マスクの持参」をお願いします …

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、議会を傍聴される皆様には、議場への入場前に体温・体調等の申告をいただき、入場時にはマスクの着用、手指のアルコール消毒をお願いすることといたします。傍聴に来られる際には、あらかじめ自宅での検温と、マスクの持参をお願いいたします。

また、傍聴する際には、他の傍聴者と2メートル以上の間隔を空けて着席ください。感染拡大防止のため、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



特集

宇野議員・今田議員が聞く

持続していく 未来の 農業の姿を体現する

地域おこし協力隊の活動について インタビューしました。



Q 協力隊に応募された 動機は？

千葉県の出身です。以前は大学院に通いながらアパレルショップに勤務していました。

将来農業で事業を起こして、地域の活

性化に関わりたいとずっと思っていました。今回竹原市の中山間地域の地域おこし協力隊の募集があったので応募しました。



地域おこし協力隊  
ふじさき だいすけ  
藤崎 大輔さん





**Q** 現在の活動内容は？

田万里の 2ha の圃場で大豆、菜の花を収穫して商品化を進めています。

また、大豆は日本古来の品種を生産しており、種をつないでいくことにこだわっています。

菜の花の商品開発は遅れていますが、景観用として菜の花畑を活用したイベントを企画したいと思っています。

**Q** 地域との関わりは？

田万里地域では地域の八幡神社の清掃に参加するなどして、地域の方々とつながりを持つように努めており、少しずつ励ましの声が増えていっているように感じています。

狩猟の免許も取得したので、来年度からは仁賀地域でも活動したいと思っています。他の生産者とも協同してブランド化を進めていきたいと思っています。

**Q** 竹原市の印象は？

町が落ち着いた感じだと感じています。また、竹原市は海があつて、アクティビティなことのできるのも、いろいろな可能性があると思います。

私の周りでも自然豊かな地域で暮らしたいと思う若い人達が増えていますし、実際竹原に来て、好印象を持って帰られる人がすごく多いと感じます。

**Q** 今後の目標を聞かせてください。

福祉施設との連携で、施設の近くで耕作地を探して農作業をしたいと計画しています。

ビーツやスイスチャードが、どこでも育ち、作付けが比較的簡単で春から秋まで植え付けが可能なのでいい作物だと思います。

まずは田万里の継続的活性化、そして竹原市の活性化を目標にしています。

そのためには地域のみなさんの息子さん、娘さん、お孫さんなどが地域に関わっていただくようにします。そのうえで竹原市がすでに持っているブランドを活かして、行政と企業が連携して若い人を呼び込み、移住を促進していけば面白い形になるのではないかと思います。



委員長 山元 経穂 副委員長 堀越 賢二

■一般会計 (議案第49号)

●歳入決算額…162億1,888万1千円

主なもの	収入済額	前年比
市 税	36億1,532万4千円	3.3%減
地方交付税	29億4,419万7千円	8.7%増

●歳出決算額…155億1,106万8千円

主なもの	支出済額	前年比	主な要因
総 務 費	15億9707万8千円	11.6%増	会計年度任用職員報酬などの増加
民 生 費	70億157万6千円	51.3%増	特別定額給付金などの増加
農林水産業費	2億7,122万8千円	72.8%増	地域経済循環創造事業補助金などの増加
教 育 費	9億6,072万円	15.2%減	小中学校空調設備設置事業などの減少
災 害 復 旧 費	12億2,865万8千円	5.9%減	平成30年7月豪雨災害復旧事業の減少

※歳入・歳出 差引差額は7億781万3千円の黒字  
※翌年度に繰り越すべき財源6億1,486万1千円を差し引いた9,295万2千円の黒字 (実質収支)

●審査スケジュール

- 9/ 8 正副委員長互選  
日程・資料要求
- 9/21 詳細審査  
総務企画部等関係
- 9/22 詳細審査  
市民福祉部関係
- 9/24 詳細審査  
教育委員会関係・建設部関係
- 9/27 総括審査・討論・採決

審査の様子は  
動画のようによろしく  
ご覧ください



■特別会計 (6会計) (議案第49号)

●歳入決算額…71億9,993万5千円 ●歳出決算額…70億7,947万5千円

■下水道事業会計 (議案第50号)

●収益的収入及び支出

	収入総額	支出総額	差 引
税 込 額	5億9,200万6千円	5億8,185万円	1,015万6千円

●資本的収入および支出

	収入総額	支出総額	差 引
税 込 額	3億6,159万8千円	5億4,512万4千円	1億9,562万6千円不足

※この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額・引継金・当年度分損益勘定留保資金で補填

■水道事業会計 (議案第51号)

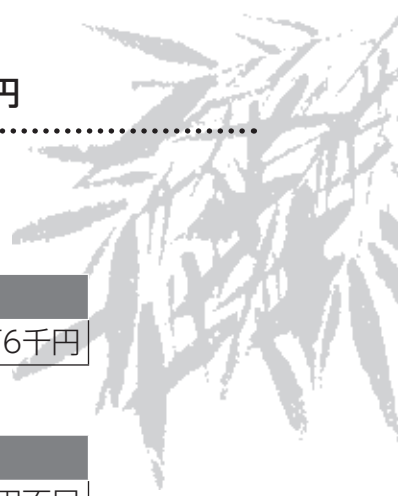
●収益的収入及び支出

	収入総額	支出総額	差 引
税 込 額	10億5,226万7千円	7億6,113万円	2億9,113万7千円

●資本的収入及び支出

	収入総額	支出総額	差 引
税 込 額	2,863万円	7億876万8千円	6億8,013万8千円不足

※この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額・過年度分損益勘定留保資金・当年度分損益勘定留保資金・減債積立金で補填





# 令和 2 年度決算 賛成多数で認定!

## ■委員長報告

当委員会に付託されました令和 2 年度決算認定の 3 議案につきまして、部署毎に関係事務の集中審査を行った後、最後に市長の臨席による総括審査を行い、計 5 回に亘り慎重に審査をした結果、3 議案共に原案のとおり認定すべきものと決しました。

市長、執行部におかれましては、当委員会の審査過程において各委員から質疑がなされた項目に対し御配慮いただくと共に、ほかの項目も含め改めて事業の実効性、意義を再度検証され、新年度(令和 4 年度)の予算編成に反映いただく事を委員長からの指摘・要望として当委員会の委員長報告といたします。

委員長 山元 経穂

### ①職員の適正管理について

- 毎年度職員の業務量を調査し、定期的な健康診断や産業カウンセラーを活用し、仕事量の増加は会計年度任用職員で対応する



### ④高齢者の健康対策としての重層的支援体制整備事業の早期活用について

- 地域の繋がりづくりや高齢者を孤立させないことを念頭に柔軟に対応し、社会福祉協議会と連携して事業の推進を図り、安全安心の担保に努める



### ②農業振興対策について

- 農業の効率化や優良農地を維持するために農業振興地域の指定や若者を中心とした担い手の育成を図る



### ⑤ICT支援員によるGIGAスクール構想への体制について

- 支援員の配置と増加する仕事量との均衡が取れないことから広島県とも連携を図り、支援員の人材確保による増員も含めて不十分な状況を改善する

### ③シティプロモーション推進による人口減少対策について

- 「特効薬」はないが、様々な施策を複合的に絡めながら、市の魅力を向上させ、シティプロモーションの推進により課題解決を目指す

### ⑥空き家対策事業における移住手続きのワンストップサービス対応について

- 各課の連携を密に行いながら、事業全体の効果の推進を図る



## ●議案第 49 号

### 反対討論

竹原市の仕事は、住民の福祉の増進や憲法第 25 条の生存権を守ること。高い国保税滞納者の 67% は月額所得 8・34 万円未満です。介護サービスは特養ホーム入所待機者 98 人(在宅者 11 人)で入所施設を増やす計画がありません。後期高齢者医療保険料は無年金者でも、月額 1,161 円で憲法第 25 条の生存権を脅かしています。

竹原市教委の働き方改革方針は子どもの学習権の保障や教員の健康問題の解決の第一歩です。早急な目標達成を求めます。新開土地区画整理事業は巨額な投資ですが、人口減少防止の有効な施策ではありません。

松本 進

### 賛成討論

ここ数年の懸念材料であった、経常収支比率については前年度の 100・6% から 46 ポイント改善し 96・0% となったことは一定の評価をいたしますが、まだまだ高い水準でありますので、今後も継続して慎重な財政運営を行っていただきたい。

基金残高については、実に 9 年ぶりに増加したことも評価されますが、想定外が想定内となりつつある自然災害等に対応できるよう、引き続き安全かつ有利な運用に努めていただきたい。

災害復旧や新型コロナウイルス感染症もようやく少しの明かりが見えてきたような気がします。

しっかりと継続して現状解決を図りながら、多様性を持ち新たな視点で事業計画と事業実施に努められ、健全な財政運営をしていただきますことを期待して、私の賛成討論とさせていただきます。堀越 賢二



●令和3年第3回定例会 議案概要・採決結果

令和3年9月7日～令和3年9月29日 ○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	委員 会託	下 垣 内	今 田	竹 橋	山 元	高 重	堀 越	川 本	井 上	大 川	道 法	宮 原	吉 田	宇 野	松 本	議決 結果	
報告 第11号	令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について、議会に報告するもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	原案報告
報告 第12号	令和3年度竹原市一般会計予算の補正について	令和3年7月7日からの大雨による災害復旧事業等を実施するために行った補正予算の専決処分について報告するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告 第13号	令和3年度竹原市一般会計予算の補正について	新型コロナウイルス対策事業を実施するために行った補正予算の専決処分について報告するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案承認
議案 第48号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中 坂本 忠明 委員は、令和3年12月31日をもって任期満了につき、その後任委員を推薦しようとするもの(坂本 忠明氏)	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	異議なし
議案 第49号	令和2年度竹原市歳入歳出決算認定について	地方自治法第233条第3項の規定により、令和2年度竹原市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	×	×	原案認定
議案 第50号	令和2年度竹原市下水道事業決算認定について	地方公営企業法第30条第4項の規定により、令和2年度竹原市下水道事業決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案認定
議案 第51号	令和2年度竹原市水道事業決算認定について	地方公営企業法第30条第4項の規定により、令和2年度竹原市水道事業決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	原案認定
議案 第52号	令和3年度竹原市一般会計補正予算(第7号)	歳入歳出それぞれ527,406千円を増額補正するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第53号	令和3年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ1,953千円を増額補正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第54号	令和3年度竹原市介護保険特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ31,785千円を増額補正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第55号	令和3年度竹原市下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入及び支出それぞれ5,378千円を増額補正するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議 第3-6号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議 第3-7号	地域住民のいのちを守るための意見書(案)	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決

●令和3年第1回臨時会 議案概要・採決結果

令和3年10月19日 ○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	委員 会託	下 垣 内	今 田	竹 橋	山 元	堀 越	川 本	井 上	大 川	道 法	宮 原	吉 田	宇 野	松 本	議決 結果	
議案 第56号	令和3年度竹原市一般会計補正予算(第8号)	歳入歳出それぞれ5,207千円を増額補正するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決

全員協議会 (令和3年9月29日開催)

財政健全化計画の取組み状況等について報告を受けました。

この計画は、弾力的かつ収支が均衡して持続可能な財政構造を確立する財政健全化に向けた取組みを一層強化するため、平成31年1月に令和元年度から令和5年度までの5か年を計画期間として策定されたものです。

事務事業の見直しや人件費の見直し等について活発な質疑が行われました。

今後も、持続可能な財政構造を確立するための財政健全化計画の取組みに対し、チェック体制を強化していきたいと思っております。



## … 主な議案 …

### 議案第52号 令和3年度竹原市一般会計補正予算 (第7号)

- 指定避難所における新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業…………… 749万8千円
- 内 容／新型コロナウイルスの感染拡大の防止を図るため、指定避難所において、トイレの洋式化等を実施する。
- 総務文教委員会での主な質疑
  - ・質 疑／指定避難所に洋式トイレを設置する場合の基準はあるか。
  - ・答 弁／昨年度より避難所開設の頻度が高い施設から順次行っており、地域交流センターについてはすべて実施済です。
- デジタルプレミアム付商品券発行事業…………… 3,650万円
- 内 容／使用場所が市内店舗に限定されたデジタル商品券を発行し、消費行動を喚起する。
- 総務文教委員会での主な質疑
  - ・質 疑／ラインのアプリを活用するということであるが、加盟店の登録をどのようにするのか。
  - ・答 弁／使用期間について11月から1月を想定しており、加盟店については新たに募集します。
- 緊急自然災害防止対策事業…………… 4,000万円
- 内 容／令和3年7月7日からの大雨により浸水被害を受けた地域について、自然災害による被害を防止するため、浸水対策を実施する。
- 総務文教委員会での主な質疑
  - ・質 疑／浸水被害にあわれた市民から、できるだけ早くと要望されている。実施時期はいつごろになるか。
  - ・答 弁／スピード感を持って、できるだけ早期に解決するようにしたい。委員会にも報告をします。
- 公立学校情報機器整備事業…………… 499万2千円
- 内 容／家庭学習においてもICT教育を推進し、「確かな学力」の向上及び高等教育以降に必要な基礎実用能力の習得等を実現するため、Wi-Fi環境のない家庭への貸与を目的としたWi-Fi機器の購入等を行う。
- 総務文教委員会での主な質疑
  - ・質 疑／Wi-Fi機器を家庭に貸出した際の通信料金の負担は。
  - ・答 弁／通信費は各家庭の負担とする予定であるが、経済的に負担が難しい家庭に対しては補助制度を考えています。

## 議 会 の う ご き

7月30日 民生都市建設委員会  
全議員会議

8月 3日 総務文教委員会

8月17日 議会運営委員会

9月 1日 議会運営委員会

9月 7日 本会議

9月 8日 決算特別委員会

9月 9日 総務文教委員会

9月10日 民生都市建設委員会

9月13日 本会議

9月14日 本会議

9月17日 議会運営委員会  
本会議

9月21日 決算特別委員会

9月22日 決算特別委員会

9月24日 決算特別委員会

9月27日 決算特別委員会

9月29日 議会運営委員会  
本会議

10月13日 議会運営委員会

10月19日 議会運営委員会  
臨時会  
総務文教委員会





いのうえ みつこ  
井上美津子

●本市の防災について  
●民間提案制度について



**質問** ハザードマップの見方や活用方法の周知はどのようにしているか。

**答弁** 市長 自治会などの住民自治組織を対象とした説明会を順次開催し、ハザードマップを活用した地域災害リスク等の周知を行ってきたところであり、引き続き、各地における防災研修会や出前講座等の機会を利用し、ハザードマップの活用方法等について周知を行うとともに、広報紙、ホームページ、SNS、タブレットなど各種媒体により、平時・出水期等を問わず、日頃から防災意識の向上が図られる情報の提供に取り組んでまいります。

**質問** 警戒レベルの基準はどのように変わったか。

**答弁** 市長 警戒レベルの発令基準については変更ありませんが、警戒レベル4「避難指示」については、従来の避難勧告のタイミングで発令することとなったものであります。

**質問** 避難所で配布する食べ物で、アレルギー疾患のある人への今後の対応はどうするのか。

**答弁** 市長 避難所において避難された人のアレルギー疾患の有無を確認し、必要な対応について保健師などと連携しながら、適切な食事の提供に取り組んでまいります。

**質問** 民間提案制度の活用について所見を伺う。

**答弁** 市長 地域住民との意見交換の機会は、地域の声を直接聞くことができるとともに私の思いを直接伝えることができる、非常に有意義な場であると認識しており、新型コロナウイルスの感染防止対策を適切に講じた上で、意見交換のテーマを設定した少人数での懇談を実施してまいりたいと考えております。

民間提案制度も含め、今後、様々な機会を捉えて、市民や企業をはじめとする多くの皆様のご意見に耳を傾けながら、市政運営に取り組みたいと考えております。



うの たけのり  
宇野 武則

●市長の市政運営について  
●市立書院図書館について



**質問** 市長のトップリーダーとしての政治姿勢が見えないが、トップリーダー像をどのように認識されているのか。

**答弁** 市長 利害が対立する局面において、批判を恐れず意思決定する決断力、実行力と認識しています。

**質問** 市長就任後間もなく、2名のアドバイザーを採用。市長は31年余の行政経験があるが、行政運営にアドバイザーを受ける必要性があるのか。市長が正確な政治判断をして、指揮権を発動すれば解決されるのではないのか。

**答弁** 市長 行財政経営を強化し、効果的に進める為に採用しました。

**質問** 平成30年7月豪雨災害発生後、市長はどれ位の頻度で被災地域に行かれたのか。市長の顔が見えなかったとの不満の声が強かったが。

**答弁** 市長 人的被害のあった箇所、大規模被災地等を中心に現地へ伺いました。その後、様々な機会を捉えて被災地の状況確認を行っております。

**質問** 令和2年12月議会で図書館の委託が議決された。運営費は5,657万円。うち人件費9名3,376万5千円。正職員2名の人件費は諸手当を含め1,560万円、臨時職員7名分人件費は1,788万7千円となる。

令和2年図書館委託費は5年間で2億6,860万円。年額5,400万円。差額は257万円となるが、その理由は、

正職員2名は市に復職。委託時正職員人件費1,587万7千円はどのように精査されたのか。

**答弁** 教育長 令和3年度委託料は5,371万8千円で、予算の積算上、主に人件費として285万2千円の差が生じています。

2名の常勤職員は令和3年4月市長部局へ異動し、指定管理料5,371万8千円には含まれておりません。

指定管理委託料は指定管理者が運営に必要な7名の人件費、物件費を積算したものであります。





いまだ よしお  
**今田 佳男**

●学校の新型コロナウイルス感染症対策について  
●新型コロナウイルスの影響を受けた事業者への支援について



**質問** 保護者との連携はどのようになされていますか。  
**答弁** 教育長 普段と体調が少しでも異なる場合には登校を控え、自宅での休養を徹底することはもとより、同居する家族に風邪の症状等が見られる場合も、登校を控えていただいております。これらのことは、新学期が始まる前に複数回にわたって保護者に対し一斉メールで配信し、家庭での感染予防対策を徹底していただくよう周知を図っております。感染を学校内だけの取組で封じ込めることは難しいため、学校と家庭、保護者との連携を密にし、感染拡大防止の徹底に向け、取り組んでまいります。

**質問** 竹原市はコミュニティ・スクールを推進している。地域の方々との情報を共有、連携して対策を検討することが可能ではないか。  
**答弁** 教育長 学校運営協議会の場で、コロナ禍における子供たちの学びを止めない学校行事のあり方についてご意見を賜るなど、ご協力をいただいております。今後、こうしたご協力をいただくとともに、学校

で新型コロナウイルスの感染者が発生した場合に誹謗中傷を防止するため、学校運営協議会を通じて地域への啓発を行うなど、学校と地域が連携しながら取り組んでまいります。

**質問** 各種の支援施策への申請状況は確認していますか。  
**答弁** 市長 各種の支援施策の申請につきましては、市や竹原商工会議所において各事業者の相談に応じながら申請支援を行うとともに、両者でその状況の情報共有を図るなど、影響のあった事業者等が、必要とされる支援を受けることができるよう連携しております。

**質問** 高齢者が固定電話経由の犯罪に巻き込まれる事案が多い状況から、さらなる固定電話経由の特殊詐欺対策が必要ではないでしょうか。  
**答弁** 市長 竹原警察署等関係機関と連携し、屋外告知放送、SNS、竹原市防災メール、タネネット等各種媒体を活用した注意喚起を行い、特殊詐欺被害の未然防止に鋭意取り組んでまいります。

**質問** 学力、運動、芸術など秀でた才能がある子どもたちを、現在のカリキュラムとは別のサポート体制で支援することはできませんか。  
**答弁** 教育長 「個別最適な学びの提供」と「自己を認識する力」の育成に向け、児童生徒が様々な経験や活動が出来る場を設定し、一人一人の児童生徒が主体的に物事に取り組み、自己を見つめる活動を通して、自分の良さに気づき才能を伸ばしていくことが出来る教育内容の創造に取り組んでまいります。

**質問** 公務員として職員・教員においては100%の

申請の受付期限：令和3年12月28日(火)

竹原市  
**中小企業者等支援金**  
のご案内

1事業者 最大 **15万円**  
基本分 10万円  
家賃分 5万円

緊急事態措置等に伴う飲食店の休業・時短営業や外出自粛等の影響を受けている中小法人・個人事業主の皆さまに、市独自の支援金を給付します。

給付額 1事業者 **10万円** (家賃負担がある場合 +5万円)



ほりこし けんじ  
**堀越 賢二**

●特殊詐欺への対応について  
●児童・生徒に対する特別サポート制度について  
●職員・教員のワクチン接種率について  
●公共施設のあり方について



**質問** 高齢者が固定電話経由の犯罪に巻き込まれる事案が多い状況から、さらなる固定電話経由の特殊詐欺対策が必要ではないでしょうか。  
**答弁** 市長 竹原警察署等関係機関と連携し、屋外告知放送、SNS、竹原市防災メール、タネネット等各種媒体を活用した注意喚起を行い、特殊詐欺被害の未然防止に鋭意取り組んでまいります。

**質問** 学力、運動、芸術など秀でた才能がある子どもたちを、現在のカリキュラムとは別のサポート体制で支援することはできませんか。  
**答弁** 教育長 「個別最適な学びの提供」と「自己を認識する力」の育成に向け、児童生徒が様々な経験や活動が出来る場を設定し、一人一人の児童生徒が主体的に物事に取り組み、自己を見つめる活動を通して、自分の良さに気づき才能を伸ばしていくことが出来る教育内容の創造に取り組んでまいります。

**質問** 公務員として職員・教員においては100%の

**質問** 高齢者が固定電話経由の犯罪に巻き込まれる事案が多い状況から、さらなる固定電話経由の特殊詐欺対策が必要ではないでしょうか。  
**答弁** 市長 竹原警察署等関係機関と連携し、屋外告知放送、SNS、竹原市防災メール、タネネット等各種媒体を活用した注意喚起を行い、特殊詐欺被害の未然防止に鋭意取り組んでまいります。

**質問** 学力、運動、芸術など秀でた才能がある子どもたちを、現在のカリキュラムとは別のサポート体制で支援することはできませんか。  
**答弁** 教育長 「個別最適な学びの提供」と「自己を認識する力」の育成に向け、児童生徒が様々な経験や活動が出来る場を設定し、一人一人の児童生徒が主体的に物事に取り組み、自己を見つめる活動を通して、自分の良さに気づき才能を伸ばしていくことが出来る教育内容の創造に取り組んでまいります。

**質問** 公務員として職員・教員においては100%の

**質問** 自由で柔軟な発想で各部署が配置されるのであれば、庁舎内に留まらず市内各所に部署があっても良いのではないのでしょうか。  
**答弁** 市長 多様化、複雑化する行政課題に対し、複数の部署が連携して、いかに効率的かつ迅速に対応するかという観点から、今後の公共施設ゾーン整備計画と併せ、総合的に検討してまいります。

**質問** 高齢者が固定電話経由の犯罪に巻き込まれる事案が多い状況から、さらなる固定電話経由の特殊詐欺対策が必要ではないでしょうか。  
**答弁** 市長 竹原警察署等関係機関と連携し、屋外告知放送、SNS、竹原市防災メール、タネネット等各種媒体を活用した注意喚起を行い、特殊詐欺被害の未然防止に鋭意取り組んでまいります。

**質問** 学力、運動、芸術など秀でた才能がある子どもたちを、現在のカリキュラムとは別のサポート体制で支援することはできませんか。  
**答弁** 教育長 「個別最適な学びの提供」と「自己を認識する力」の育成に向け、児童生徒が様々な経験や活動が出来る場を設定し、一人一人の児童生徒が主体的に物事に取り組み、自己を見つめる活動を通して、自分の良さに気づき才能を伸ばしていくことが出来る教育内容の創造に取り組んでまいります。

**質問** 公務員として職員・教員においては100%の

**質問** 自由で柔軟な発想で各部署が配置されるのであれば、庁舎内に留まらず市内各所に部署があっても良いのではないのでしょうか。  
**答弁** 市長 多様化、複雑化する行政課題に対し、複数の部署が連携して、いかに効率的かつ迅速に対応するかという観点から、今後の公共施設ゾーン整備計画と併せ、総合的に検討してまいります。





ともえ 知江  
どうほう 道法

●女性活躍をテーマに地方創生  
●女性の視点からの防災・復興



**質問** コロナ感染症の不安が長引く中、その影響は特に女性に強く表れています。孤立を防ぐための対策や、ひとり親家庭の支援で、デジタル取得・向上のための求職支援訓練促進給付金などデジタル人材不足に貢献できる制度や地域女性活躍推進交付金による支援を検討されていますか。

**答弁** 市長 深刻な問題を抱えている方への対応は、何よりも相談体制の充実が必要で、多様な課題を発見し支援につなげていきます。

今年から自立支援の給付金対象資格にデジタル分野が追加されました。ワークライフバランスの促進や多様な働き方への対応など、あらゆる分野で女性が能力を発揮できる環境づくりを促進してまいります。

**質問** 女性たちの周りには子ども、お年寄りや障がいのある方など、災害時に困難を抱える人など、多様な人の視点が含まれています。男女共同参画の視点から防災会議に占める女性割合30%を目指すがありますが、現状と女性の声が反映されていますか。

女性が輝く社会はすべての人が輝く、そして弱者を助ける制度から弱者を生まな社会の実現に努力すべきと思いますので、市長のご所見をお聞きます。

**答弁** 市長 防災会議は23名で女性委員は1名です。女性委員の選任に働きかけを行い、防災会議に女性の意見を反映させていきたいと考えています。

女性が輝くことは、暮らしやすい社会、活力のある社会を作ることにつながり子育てがしやすい、安心して介護ができる、ライフステージに応じた柔軟な働き方ができる等、女性の視点から見て暮らしやすい社会の制度や仕組みをつくることは、同時に女性も男性も共に輝く社会、ひいては、妊婦、子ども、若者、高齢者、障がいのある方、ひとり親として世帯を支えている方など、すべての人にとって暮らしやすい社会をつくることでもあります。

こうした「女性が輝く社会づくり」の実現に向けて今後関連する各種施策に積極的に取り組んでまいります。



まつもと 松本  
すすむ 進

●新型コロナ緊急事態宣言と学校等の対応は  
●危機管理について



**質問** 広島県緊急事態宣言のもと、デルタ株の感染力の強さを考慮した分散登校・オンライン授業は。クラスター対策ではPCR検査等が必要ですか。見解は?

**答弁** 教育長 校内で感染者が出た際は学校の全部又は一部を臨時休業し、学びを保障するためICT活用等が必要と考えています。

また、保健所の指示の下、感染可能性を広くリストアップして検査の実施で感染拡大防止に取り組んでいきます。

**質問** 7月初旬の大雨は、主に本川左岸(右岸の中心も)で住宅浸水被害が発生し繰り返される被災に住民は「何とかならないのか」：痛切な声です。

①私は、本川拡幅計画の早期実現を再度強く求めます。また、広島県と竹原市がつくる方針で上流域の遊水地の場所・貯水量・実施時期や大王地区浸水対策事業の進捗状況は。

②本川水門等の操作特例による適切な水門等の運用で上流域の浸水被害は防げたのではないのか。  
③吉崎ポンプ場の水位計が

赤い数値を超えても排水ポンプが増設されていません。毛木遊水地は増設ポンプが遅れたため浸水被害が起きています。なぜ、これまでの教訓を生かささないのか。

**答弁** 市長 ①本川の河川改修は多くの家屋移転を伴い、早急な対策が困難であることから、河川管理者(県)のみによる対策だけでなく、流域のあらゆる関係者が協働で進めています。対策の具体的な内容がまとまれば説明します。大王浸水対策は今回の大雨災害で設計を見直します。

②本川排水機場は高潮対策で整備されており、豪雨に対する洪水調整機能は持ち合わせていません。

③平成30年の災害を受けて、吉崎排水機場は除塵設備の改修と樋門・排水ポンプの自動運転システムの導入。毛木排水機場は低水位管理の小型ポンプの整備。

例年、出水期に仮設排水ポンプを各2台設置していましたが、このような対策の整備を踏まえ、仮設排水ポンプの設置は要していないものと考えていたところでありませぬ。



意見書

9月定例会 全会一致で賛成可決し、国・政府へ提出しました。

発議第3-6号

## コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

国においては令和4年度税制改正に向け、下記の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

1. 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
2. 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
3. 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。
4. 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
5. 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

発議第3-7号

## 地域住民のいのちを守るための意見書

国においては地域住民のいのちを守るため、次の措置を講ずるよう強く要望する。

1. 保健所の拡充設置と医師・看護師・介護職・保健師等の増員が必要であることを認識し、拡充・増員計画を示すこと。
2. 公立・公的病院の再編統合「再検証リスト」については、撤回するとともに、地域住民が医療の心配をしなくても暮らせるよう、感染症・一般病床・急性期・療養型を問わず、病床数の拡充設置をすること。また、公立・公的病院の拡充計画を示すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

議会人事

高重洋介議員の議員辞職に伴い、欠員となっていました議会運営委員会委員に川本円議員が選任されました。

特集

持続していく  
未来の農業の姿を体現する



特集後記

田万里郵便局の近く、国道2号線の南側の広い緑の畑。春は黄色い菜の花が咲きほこっていましたが、今は大豆が実る中で、地域おこし協力隊の藤崎さんとボランティアの学生さんが作業に励んでおられました。

近くでは毎週金曜日に、地域の高齢者が野菜などを販売される朝市があり、遠くから買い物に来られる方もおられます。

農業高校に通うボランティアの女子高生は卒業後も田万里地域の農業に関わるそうです。農業で若者呼び込んで田万里、竹原の活性化に取り組む藤崎さんを応援したいと思います。



今田 佳男

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP

竹原市議会

検索



次回定例市議会は、11月下旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

今年は旬の野菜が異常気象で収穫が減少している為、高値で売られており、食卓を直撃するだけでなく飲食店等にも影響しているといえます。その他にも、小麦粉等身近な食品も原材料の高騰で値上げされ、家計を預かる者は、スーパーのはしごやメニューの工夫等悪戦苦闘しています。早く安価になって欲しいものです。

竹原市の家計といえは予算・決算ですが、9月議会で令和2年度決算を認定しました。決算とは、予算を執行した結果、どのような成果を上げたかを示す成果報告で、「どんな考えでどのような方法で事業を進めてきたか」を市民の皆さんにお知らせする大切な情報でもあります。今後持続可能な竹原市となるよう監視の目を向けて参ります。

井上美津子

「広報広聴委員」◎委員長◎副委員長

◎井上美津子 ◎今田 佳男

下垣内和春 川本 円

宇野 武則 松本 進